



車充電用コンデンサー

容量7%まで低減

ダイヤモンドHD

ダイヤモンドエレクトリックホールディングス(HD)は15日、車載用充電器などに利用できる小型のバイパ

スコンデンサーを開発したと発表した。蓄電池とインバーターをつなぐ部品で、電圧変動などを抑える。「アク

ティブパワーデカップリング」と呼ぶ方式を採用しており、部品に使うコンデンサー容量を従来比7%まで大幅に減らせる。従来の主流である電解コンデンサーを、セラミックコンデンサーやフィルムコンデンサーに置き換えられる。セラコンを使うと部品体積を従来比約15%減らせて、高温環境の動作にも対応可能。5000時間程度が一般的な部品寿命も延ばせる。

▲開発したバイパスコンデンサー(セラミックコンデンサーを使用)

車載部品メーカーなどに提案し、早期の実用化を目指す。